

国道8号彦根～東近江（仮称）環境影響評価準備書
第2回審査会（令和6年1月15日）での意見に対する事業予定者の見解

資料2
(事業者資料①)

No	項目	委員	第2回審査会（令和6年1月15日）での意見（要旨）	意見に対する事業予定者の見解
1	その他	東野委員 (大気質)	事業による温室効果ガスの影響について、準備書第3章の配慮事項における記載だけではなく、事業の整備効果として示すことはできないのか。	温室効果ガス排出量の変化や現道周辺における騒音の改善効果については、評価書段階ではなく事業実施段階において事業による整備効果の一つとしてお示ししていくことを考えております。
2	騒音	野呂委員 (騒音・振動)	上記に関連して、積極的に検討頂けるのであれば、実施区域外における騒音の改善効果等についても言及頂きたい。	
3	その他	和田専門委員 (水質)	準備書第12章（P12-1）において、事業実施段階時の台風や豪雨への対応の記載がないように見える。 上記の事象が発生した場合の対策等を記載した方が良いのではないか。	事業実施にあたっては、気候変動等の状況変化も考慮した上で適切な対策等を講じて参ります。